



# 福祉よさのうみ

〈発行〉社会福祉法人 よさのうみ福祉会 〒629-2314 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600-6 TEL 050(3532)0601 FAX 0772(43)0606

障害のある人のゆたかな地域生活の実現を! URL <http://www.yosanoumi-fukushikai.or.jp>



みやづ作業所 仲間の作品

新年のよさのうみ

理事長 青木一博



新しい年を迎えるにあたり、日頃よりご支援を頂いております皆様方に心から感謝とお礼を申し上げます。

法人後期3カ年計画の最終年度にあたる2017年度は、①より良い支援をめざし、2年の準備期間を経て10月に初の「職員ネットワーク研修会」を開催、②法人の組織改革では、専門委員会、専門部会活動を旺盛に展開、③財政改革では、21回の検討委員会審議を経て11月に「職員新給与システム案」を提案するなど、最終年に相応しい取り組みを展開しました。

後期3カ年計画で実現した障害の重い人たちの「菜の花ホーム」とアパート型ホーム「ハイツゆいまーる」を見学者と共に数度訪問しました。親子べったりの生活から個が尊重される暮らしへの変化、安心できる独り暮らし生活の喜びなどを見るにつけ、障害者権利条約を地域の隅々に浸透させることの大切さを痛感しています。

厚労省は昨年11月、給食の利用者負担軽減措置を今年3月末で突然廃止しようとしていました。利用者26万人の声を代表する1270事業所の緊急署名に厚労省は年末、先の廃止提案を全面撤回しました。厳しさを乗り越える力は、切実な願いにもとづく運動にあります。今年9月、京都市内で開催される「きょうとされん全国大会」の大きな成功がその確かな保障となります。

皆様方の益々のご発展をお祈りしますと共に、本年もよさのうみ福祉会に対するご支援をよろしくお願い申し上げます。

# よさのうみ福祉会の現在と未来への展望

鳥取大学地域学部教授  
京都北部福祉会研究委員会委員長  
三木 裕和

私が養護学校教員になったのは1980年で、養護学校義務制の翌年でした。子どもたちと仲よくなるにつれ、この子たちがこの前まで学校教育を受けることがなかったのだ、という事実に衝撃を受けました。

養護学校義務制の10年前に、どんなに障害が重くてもすべての子どもにひとしく教育を保障しようと、自ら学校を作り上げた地域があると聞き、見学に行きました。

正門の横に「ほくらのがっこう」と大書された京都府立与謝の海養護学校。その存在は、障害児教育の駆け出し教員を深く励ましてくれました。



三木 裕和 教授

この学校を卒業した青年たちが、一般企業就労の夢に破れ、在宅生活を送っている。その窮状を救おうと立ち上がった人たちがいるこ

とも知りました。そこも見学に行きました。

無認可の共同作業所という、なんとも手作り感いっぱい施設でした。すま風が雪とともに吹き込む部屋で、誇らしげに日々の実践を語る男性職員がいました。リアフリーにはほど遠い古い民家を借り受け重症心身障害の人たちを受け止める女性職員の笑顔には、時代を切り開く美しい光がありました。これらの人々は、現在のよさのうみ福祉会につながる人たちです。

彼らが苦しい時代に思い描いた未来。その地に、今、私たちは立っています。

就労継続A型に営利企業が参入し、補助金ねらいの「計画倒産」事件が報じられる現代。貧困と格差の拡大が障害児者家族を直撃し、悲しい死が報じられる日本。その中であって、よさのうみ福祉会が果たすべき役割はますます重要になっていきます。

では、何をすればいいのでしょうか。それは「人間を大切にすることはこういうことだ」と分かる。そういう実践を進めることです。

障害のある人が働くこと、暮らすこと、人生を楽しむこと。その各場面で、先人が夢に描いた実践を試みることです。

私たちの実践は、障害のある人をどれだけ深く理解できているか、その水準に規定されます。その人自身が自らの障害をどう受け止めているのか、発達のな制約の中で世界をどう見ているのか、家族の生活の苦難をどう生き抜いているのか。

それを深く理解することなしに、実践のみが前進することはありません。

私も、六福祉会の研究運動で、みなさんとともに歩み、進んでいきたいと願っています。



福祉よさのうみ第5号  
(1984年11月20日発行)  
野田川共同作業所にて  
紋紙ばらしにとりくむ仲間達



福祉よさのうみ第4号  
(1984年9月1日発行)  
養護学校高等部生の作業所実習  
(3段目写真とも)

福祉よさのうみ第2号  
(1984年2月15日発行)  
福知山共同作業所  
きょうされん ふきん作業



# よさのうみ福祉会の現在と未来への展望

1980年に設立したよさのうみ福祉会は、これまでの事業の到達を振り返り新たな課題実現のため2012年に「めざすもの」を制定しました。さらに2015年には、利用者や家族の願いをもとに当法人の将来のあるべき姿を描いた「夢ビジョン」、また職員として大切にすることを明らかにした「めざす職員像」を策定し「めざすもの」の実現にむけた取り組みを進めています。

## よさのうみ福祉会のめざすもの

- ①人間として生活していくために必要な権利の保障をめざします。
- ②誰もが安心して暮らしやすい地域をめざします。
- ③一人ひとりの意見が大切にされ、社会から信頼される民主的な経営をめざします。
- ④基本的人権が尊重される平和で豊かな社会をめざします。

## 3カ年計画の3つの基本方針にそった取り組み

今年度は「3カ年計画」(2015年度〜2017年度)の最終年度となり、掲げた方針の推進と総括

をおこなっています。現3カ年計画は、利用者支援の向上や法人事業を将来にわたって安定的に運営していくために、①利用者に対する支援の向上のための職員育成、②法人の規模を活かせる組織体制、③経営を安定化させる財政改善策の3つの基本方針を掲げ、その仕組み作りと定着を図る期間と位置づけて取り組んできました。

その主な内容として、①菜の花ホーム及びハイツゆいまーる開設、ホームすみれの統合や京丹後市内での新たなホーム開設にむけた準備など、暮らしの場の拡充。②多様な障害者の受け入れ、③「めざす職員像」にもとづく新人職員OJT、主任会議、各種研修会の実施、④法人内の各種委員会・部会の設置と活発化、⑤財政安定化のための収入増と支出減のための取り組み・職員給与支給改定の論議と提案などを実施してきました。

## 次期3カ年計画の策定にむけた課題

次期3カ年計画を策定する上で、①国の公的責任の後退・公費削減と通所事業利用者減による収入

の減少、②利用者の高齢化にともなう暮らしの場や地域生活支援の必要性の拡大、③職員確保と育成、④多様な障害者等の事業所利用、などが直面する大きな課題となっています。次期3カ年計画は、これら課題を解決し、利用者への支援の拡充と事業の発展・安定化を図るものにしなくてはなりません。

## 次の世代へのバトンタッチと次期3カ年計画の主な柱

当法人は経験豊かな管理者や主任が多く、現在の各事業所運営の中心的役割を担っています。しかし、3年後の2020年度からはほぼ毎年2〜4名の管理者・主任が相次いで定年退職することになります。次期3カ年計画は「次の世代へのバトンタッチ」をしていく重要な時期となります。

そうしたことを踏まえ次期3カ年計画は、①職員確保と職員育成システムの確立、②教育機関や福祉関係団体等との連携、生活困窮者等対策など地域の福祉課題解決、③法人の事業所や組織の再編、④法人40周年記念事業の実施の4つが主な柱となります。

## 法人設立40周年を節目に

次期3カ年計画の最終年度となる2020年度は、当法人が設立して40周年を迎えます。

京都府北部における障害児者運動の歴史、また当法人の今日までの事業の到達をふまえ、この40周年と次期3カ年計画を大きな節目にして、将来にわたって障害のある人や関係者一人ひとりの願いや思いを大切にされた事業を一層進めていくための基盤を確立したいと考えています。



法人夢ビジョンの中から「日中活動の場」を掲載しています

# 『未来に向けてバトンを受け継ぐ』～30代の職員の思い～

福祉よさのうみ発行101号記念として、前回に続き対談を行いました。今回は、福祉会において未来を嘱望される30代職員達が、仕事に関わるうえでの悩みや喜び、福祉会の「今」と「これから」を語り合いました。

〔出席者〕  
〈乗の花ホーム〉 主任 西原 勇介  
〈いきいき〉 支援員 霜尾 充範  
〈峰山共同作業所〉 支援員 小石原江里子  
〈障害者生活支援センター結〉 主任 坂根 由美子  
〈ヘルパーステーション結〉 主 任 坂根 由美子  
ヘルパー 関 忠志

自己紹介と各自の職場の実践について報告した後、質問が生まれた。

**西原** ヘルプは個人スキルが長けていないと対応できない場面が多いかと思うのですが、どのように学習するのですか？

関 きょうざれんで研修会をしたりしますが、こじんまりした中で自分たちが経験したことを伝えて、あとは個人で考えて対応していくような感じだと思います。

それでも分からなかったら家の人とか

もその人がどう思われているかなということかな。聞かないといけないですね、ご本人の気持ち。

## 職場での対話

**西原** 気持ちを開かないといけないと思うけど、職員の対応は様々あって、難しいですよ。職員も限られたマンパワー、資源の中でやっていかないといけない。職員に分かりやすく言っていないといけないけれど年齢の高い職員が多いので言いにくい面があります。

**霜尾** どの人の意見が正しいとか間違っているということはないと思うけれど、こういう考え方もあるんですよと捉えようとする、結局支援がばらばらで統一されていないことになる。



霧尾

**西原** 会議を持って共有をしようと思ってもうまくいかない

訪問看護師さんに聞きます。いろんな人に話を聞くので人脈も広がるし、話が面白い。



西原

坂根

**坂根** 皆さん個性的ですけれど、もともと元気に生まれただけで、事故や病気で途中から障害を持つて、今はいきいきにお世話になっている方からも、私たちは小さい時の話を聞かないといけないんだけど、「いろいろ聞いてすみません」と思います。でも、成育歴とか親御さんの思いとかというところを知っておかないと、今だけを見てその方を知った風になつてしまう。その方も諦めてしまう。「分かってきてくれないけどまあいいか。」になつてしまう。

**霜尾** 僕もみねやま作業所、ヘルパーステーション結を経ていきいきに移って2年目ですが、家の方に会ったのはほんの数人。半分以上は会っていないんです。いつべん

時もありますね。

**霜尾** 職員が多いといろんな意見が出て、まとめるのは大変だと思う。

**西原** 支援はおしつけではないけれど、利用者との面を支援をするのかは置き去りにできない。日勤の人は会議以外にも業務の連携を取り仕事しやすかったりするがそういう人ばかりではないし。

**小石原** 仲間に対してもそうだし、職員に対しても、どれだけ自分が説得力を持って、自分の言葉を聞いてもらえる人になつているか、自分の考えとか人間性をいつも考えますね。常に考えています。

**坂根** 新人研修でOJTとかもあるんですけど、私はわりと昔気質に「私のやり方を見といてくれ」という風にするんですけど、言ったことをまづきちんとこなしてもらう、自分自身もこなしていく、そういうことで職場のレベル自体が上がっていくかなというふうに思っています。違うと思うたら私はこう思います、ということをつたわらいいと思うんです。

話し合いも自分から、特にまず上の人にしていくということが必要だと思えます。その上で、同僚だったり、部下的な存在が皆さんいると思うんですけど、その人に合った伝え方をしていかなければいけないということを日々思いながら、難しいかな。ちゃんとしていない人に言われると自分も腹立つ

でも出会うのはすごい必要かなあと思えますけど。

**西原** 他の事業所はわかりませんが、いきいきでも家族会開いても数名しか来られませんか。

**坂根** (高齢の為に事業所へ) 行けない。

**西原** そうそう。そういう方もおられますし。

**坂根** 自分の子供のこともすごい心配だけど、職員に対してでも、特に若い職員に対してはすごい思いを持って、元気にしとるかとか、どこにおんなるんやとか聞いてくれる方もあります。そういうのも大事にしたくて、やっぱり職員の方からおうちに行つて欲しいなと思うこともありますね。

## 仲間の高齢化について

**西原** 作業所の仲間の年齢つて若いのですか？

**小石原** 支援学校を卒業したばかりの若い方もありますが、やっぱり何十年も前からずっと作業所におられる方もあります。最近では本当に高齢の方が増えてきました。認知症の方も増えるし、高齢からの生活のしづらさや自分だけでは生活できにくくなつたりという方も増えてきたので、会議でもよく話し合います。

**小石原** 職員としてはホームなどに入られたら安心というのがあります。家で暮らしたいという思

じやないですか。(一同笑)

**小石原** : 整っていないと、やはり

**坂根** : 言ってるけどやってないやん、みたいな(笑)。きちんとできていて言える存在になつていかないと、というのはよく思いますね。

## プレッシャーに耐え

### ストレス発散:

**西原** 客観的に自分がどこまでできていないかなかなか見えなくて、きちんとしないといけないばかりでけっこうプレッシャーになつたりしませんか。

**坂根** しますね、けっこう。

**西原** 管理者がいるところとホームが離れているので、なかなか気軽に意見を求められない。上司は出張とか会議とかよく出られるので、そういう面でもみんな担っているかなんかという重圧があるんで、どこまでできていっているやろうと常に思います。

**坂根** 作業所で作業をまわしながらしている時は本当に忙しいと思つていてなかなか仲間の支援まで考えられなかつたなあと思います。

**小石原** : 家庭と仕事のバランスを取らないといけないので仕事の量と時間が常に頭の中にあります。本当は仲間支援のところにもっと時間を割くべきだと思いますけれど、バランスよくこなしていくためにどうしても削らざるを得ないところがあり、そこが悩ましい

いを持つてる方も多いのです。

**坂根** 家で暮らせる人はギリギリまで家にいられたらいいと思う。

**小石原** 家が一番いいですね。でも介護保険は申請するけれどもすぐにデイサービスとかじゃなく働ける人は生活介護で過したり、GHなどで過ごしたりとかいろいろ方法がありますね。いきいきにも高齢の方がおられますか。



坂根

**霜尾** 70歳を前にして作業にも出て来られますが、ぼくは自分自身が70歳ならもう仕事はええかなとも思います。かといって作業室の方へ行かないといきいきの方では職員がいけないし、その間は部屋で過ごすしかない。高齢の人とそうでない人と取り組みを分けてもいいかと思つています。

**小石原** 65歳を超えて高齢になつても今の場所におれるまでおりたいという方もあります。ホームに入っている方で「ずっとホームにおりたいけどいつ出て行けといわれるのだろう」と不安に思われている。仕事参加の話があつたけど、その方がやりたいと思われているなら周りはできていないと思えて

というか、だからイライラするし。みなさん、どうやってバランス取ってますか？ 気持ちを整つてないのに仲間に向か言つたりするのはできないと自分は思つてるんです。自分のプライベートも含めてある程度安定していないといけないと思つし。



小石原

**坂根** : 上司が気さくな方なので、相談しやすいし、相談してもらえるところとちよつとうれいというか、認めてくれていんだなと感じます。その場で判断して自分で動かないといけないことが多い仕事なので、これ以上は独自の判断ではダメだなつていうところを研究しながら、ちよつと失敗もありながらですけれど。

ストレス発散はね、私は寝る事です。子供と一緒に10時ぐらいに寝ますね。

**小石原** ベストですね。  
**坂根** 5時半とかに起きますけど。不規則勤務じゃないので、そのへんはありがたいです。大変ですね、いきいきやホームの勤務は。眠れますか？ 泊り。  
**霜尾** 初めすごく緊張しました、夜



が怖いので。

今は眠れず、なかなかバタバタして眠れない時間は多いですけれど、寝ようと思つたら全然大丈夫。

**西原** 菜の花ホームは支援度の高い方が多いので同性介助のために夜勤は2人体制なんです。それ以外のグループホームは一人職場が多いです。すれ違いの勤務で、仲間としか会わない、職員と会わないから支援の疑問なども話す機会がないような職場環境なので、ストレスはたまりやすいんじゃないかと思えますね。僕なんか結構イライラすると眠れないので、お酒飲んで寝ますね。

**小石原** 職場だけじゃなくてもプライベートでどこか、ふつとリラックスできる場所があればいいですね。  
**霜尾** 職場でも仕事以外のプライベートの話をする、ホッとできず。ヘルプで関さんに同行した

時に、仕事のことはきちんと教えてくれるけど、それ以外の話もたくさんしてやりやすかったですね。  
**関** まあ恥ずかしい。意外とねーあそこ行つておもしろいとか。



関

**西原** 仕事の話が出だしたら愚痴しかない。

**坂根** 上の人や、経験のある人の方から聞いてくれると、今日この人と仕事だったらホッとしてみたいな気がしますよね。私自身がそう思ってもらえたらいいですけどね。

**西原** 自分がなろうと思つたら足りない所がいっぱいで、足りないところしか見えないですね。ある程度できたと思つて自己満足すると、その先、自分が成長できないんじゃないかな。

**坂根** :あの人がいつもなんかと戦つてみたいいな、すごい気負つてみたいいな感じではいけないなと思つています。

**関** みなさんがいろいろなることを考えながら仕事に取り組んでおられることがよくわかりました。最後に、これからこういう職員になりたい、こんな仕事をしていきたい

「みんなでしあわせをさがしていききたい...  
なかま・かぞく・わたし」

始めは、技術指導員として採用され、夢織りの郷つむぎでのスタートでした。わからないことは仲間が先生、車椅子は押すものと思つていたら「自分の事は自分でさせたい」と仲間から言われ、あえて見守るのも支援と教えていただきました。

リレー随想



野田川共同作業所 主任 菅谷千恵美

絵の上手な一さんには、病気に関するありとあらゆることを教えていただきました。その彼が、一人で亡くなつているところを発見されるといふ悲しい別れも経験しました。

障害は誰にでも起こりうるものかわかった気がした、昨年8月30日、娘がドクターヘリで運ばれたとの一報を受けました。

原因は5万人〜10万人に一人と言われる脳の病気でした。二日間にわたる手術で、何とか一命は取り留めたものの、娘の一日一日を見ていくのが、現実でありながら現実でない

ような毎日でした。これまでは「現実を受け入れることからスタート」と思っていました。が、いざ我が子となると情けないものです。

しかし、その気持ちを支えたものは支援員としての経験でした。ドクターの話も冷静に聞く自分自身に驚き、できうる手立ては何かと先のことを考えていました。

でもある日、病院からの帰路、込み上げるものを抑えきれず、声を上げて泣きました。そして、その後、冷静な自分に戻つていきました。娘の旦那様が、「福祉」ということばの意味は「しあわせ」だぞつですと一言しました。

しあわせにかかわる仕事をさせていただいていることへの感謝と共に、他人様の人生を大切に、一人一人が思い描くしあわせを応援し続けたと思っています。

【職員募集】

「いきいき」生活支援員 (正規職員 1名)

- 勤務形態/一カ月単位の勤務表によるシフト制、月平均165時間程度、年間休日100日程度
- 仕事内容/利用者の生活支援、平日の日中は作業や活動を支援、運動・事業への参加など
- 給与 額/月14万円(高卒) ~ 22万円(大卒最高)、賞与あり
- 資格年齢/国家3資格のいずれか、又は資格取得をめざす方。
- 応募書類/履歴書・レポート
- 面接/応募書類受付後随時
- 連絡先/与謝野町岩屋「いきいき」☎0772-43-0380 池田

「くりくり」販売職員 (パート職員1名)

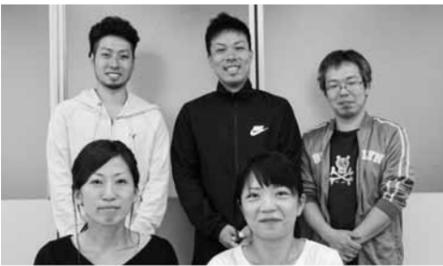
- 勤務形態/パート職員、勤務時間シフト制、週3~4日程度、1日3~5時間程度
- 仕事内容/作業所製品の販売業務・レジ打ち・商品陳列等
- 給与 額/月8万円程度
- 資格年齢/不問
- 勤務先/京丹後市峰山町新町 ショッピングセンターマイン2F
- 連絡先/ゆうゆう作業所☎0772-75-2312 山下

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は広報紙「福祉よさのうみ」が記念すべき100号を発行し、これまでの歴史を振り返る中で、過去から学ぶことがたくさんあり、まさに「温故知新」を実感しました。▼パソコンが普及し、またスマートフォンを若男女が使いこなす中で字を書くことが減つて、読めるけど書けない!こんなことが日常茶飯事です。そんなことを痛感する今日この頃、テレビできれいな字を書くコツ!とか、芸能人が達筆を競う番組もあったり、また高校書道部が人気だつたりして、やっぱり字を書くことの大切さや、日本古来の書道の美しさを日本人は忘れていないんだなあと心が温かくなりました。▼冬休みには学校の宿題で書初めがあります。毎年子供と一緒に書くのですが、筆を走らせる心地よさと適度な緊張感、筆に合わせて呼吸をとることをとても楽しく感じます。▼101号発行から始まる2018年を、書道のようになら心地よく適度な緊張感を感じながら、よりよい広報紙を作つて行きたいと思つています。宜しくお願い致します。(お)

いという未来に向かつての思いをおひとりずつお願いします。  
**坂根** 利用者やご家族の思いに寄りつて一緒に考えて支援をしていきたいです。自分自身も含めて法人で働く方が楽しいと思えるような環境を作つていきたいと思つています。  
**西原** 福祉の現場で大切なことは職員、仲間ともに笑顔で過ごせることだと思つています。笑顔の素敵な職員のもとには自然と仲間が集まってくると同時に、周囲の職員も仲間もその笑顔につられ職場の雰囲気も良くなるように思っています。日々の仕事に追われ余裕がないことも多いですが、笑顔を大切にしていきたいことの出来る職員になりたいと思つていきます。  
**霜尾** 今はいきいきという生活の場で24時間利用者の生活を支えています。いろいろな障害を持った方がおられるし、本当にその人に合った支援、少しでも暮らしがよくなる支援をしていきたいと思つています。当たり前のことですが、自分ではしているつもりでも、そこが難しいと思つていきます。  
**小石原** ここに来ると気持ちが落ち着く、生活面でのしんどさや気持ちのしんどさがある中でも、通所することで自分を保つて日々を過ごしていけるような、嬉しい瞬間や楽しい瞬間を生み出せる職員になりたいと思つています。そのた

めに、常にその瞬間の気持ちや気持ちの変動に寄り添っていききたいと思つています。  
また、この仕事には時には正解が見えない、考えても考えても何が正しいのかわからない難しい仕事であると思うので、日々自分自身についてや自分の支援について振り返り、仲間への接し方・支援に反映していける職員になりたいと思つています。  
**関** 私は、より信頼してもらえたい。私にはいろいろな職場の実践や悩みを聞いて、その職場ならではのものもあるし、どこでも同じ悩みがあるということも共感しました。でもその中でもみなさんの仲間の支援に対する真摯な思い、熱い思いが伝わつてきました。これからのいろいろな話をし、情報交換をしたり、よりよい支援ができるよう切磋琢磨していききたいです。今日は本当にありがとうございました。



101号特別企画 福祉会の職員紹介

# 私が前向きになれること

よさのうみ福祉会はさまざまな職種の職員に支えられています。  
今回はその中の特に臨時職員として働いている皆さんを  
コメントとともに紹介します。



- 事業所名  
ヘルパーステーション結
- 業種/ホームヘルパー
- 氏名/富田 勝之

事務所に戻った時みんなが和気あいあいとしているとホッとします。



- 事業所名  
ヘルパーステーション結
- 業種/ホームヘルパー
- 氏名/上野 孝子

ヘルプ先で作った料理をおいしいと喜んでもらえるとうっしょ〜♡



- 事業所名  
ホームゆめおり
- 業種/キーパー
- 氏名/坂根 均

明るく楽しく和やかな気持ちで利用者に接していけるキーパー



- 事業所名/菜の花ホーム
- 業種/キーパー
- 氏名/玉田 照美

「ハンサムボーイ」外見でなく心がハンサムと言う事。いつもそうありたいと願います。



- 事業所名/いきいき
- 業種/調理職員
- 氏名/島田 やよい

働ける事、その場があることに感謝して、日々励みたいと思います。



- 事業所名/支援センターろむ
- 業種/運転職員
- 氏名/立石 聰

月に10冊の読書と歌です。「ろむの五木ひろし」と呼ばれています。



- 事業所名/みねやま作業所
- 業種/事務職員
- 氏名/新治 知子

可愛がっているウーパールーパーの「う〜やん」に毎日癒されています。



- 事業所名/ホームすみれ
- 業種/キーパー
- 氏名/志水 功樹

『たすけあい』の言葉が大好き。少しでも恩返しができるよう頑張っています。



- 事業所名/みやづ作業所
- 業種/運転職員
- 氏名/小谷 純一

仲間との触れ合いが日々の活力です。頑張ります。